



携帯用 QR コード

調べ方案内 認知症と生きるために

埼玉県立久喜図書館 自然科学・技術資料担当
久喜市下早見 85-5 Tel : 0480-21-2659

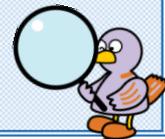
高齢化が進み、全ての人の身近な心配ごとである「認知症」。
厚生労働省が発表した「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」では、「2025（平成 37）年には認知症の人は約 700 万人前後になり、65 歳以上高齢者に対する割合は、現状の約 7 人に 1 人から約 5 人に 1 人に上昇する見込み」とあります。

オレンジプランのテーマは「**認知症の人の意思が尊重され**」「**自分らしく暮らし続ける**」こと。

**その人の性格や生活歴に配慮した、認知症の人の立場になって考える
新しいケア方法などにも注目が集まっています。**

認知症が「誰もがなるかもしれない身近なこと」に変化しつつある今、ただ恐れるだけでなく、自分や周囲の人が認知症になっても住みやすい環境を作っていくことが大切ではないでしょうか。認知症と生きるために、症状、利用できる制度、介護施設の調べ方、相談窓口など多角的な情報源を紹介いたします。

なお、医療情報について調べる際は、その内容が出版された時点での情報であることに留意し、できるだけ複数の情報源を比較するようにしましょう。



目次

1 認知症を知る

- ①医学の観点から知る ②予防する ③病院を探す

2 利用できる制度

- ①福祉・医療の制度 ②暮らしを支えるためのサポート制度

3 認知症の人への対応・介護

- ①ケアに関する図書 ②介護サービス事業所・施設を探す

4 認知症について相談する、話を聴く

- ①相談する ②他の人の体験談を聴く

5 若年性認知症

思い出を語り合うことで脳を活性化する
「回想法」については
調べ方案内「**入門！回想法**」を。
認知症に関する一般書については
資料リスト「**認知症と生きる**」を
それぞれご覧ください



表記が簡単で読みやすい本（入門書）



専門的な記述のある本（専門書）

医療関連図書は 久喜図書館、介護関連図書は 熊谷図書館 で所蔵しています。
お近くの公共図書館にお取り寄せもできます。



インターネット情報



電話相談窓口

1 認知症を知る

①医学の観点から知る

-  『**認知症の予防と生活指導** イフォーム・コソウトのための図説シリーズ』（遠藤英俊／著 医薬ジャーナル社 2013）
医師が患者に説明するときに使用することを目的とした本。医師向けだが図が多くわかりやすい。
-  『**認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント**』（山口晴保／編著 協同医書出版社 2016）
医学的な知識からリハ、ケア、食生活まで包括的な取り組みを紹介。版を重ねた信頼できる一冊。
-  『**ここが知りたかった認知症・パーキンソン病スーパー処方**』（野元正弘、荒木博陽／編 南江堂 2014）
現場で実際に、医師と薬剤師が対応した経験を元に編纂された、認知症の薬についての図書。

知っておきたい **診療ガイドライン**

診療ガイドラインとは、各学会などがそれぞれの病気について、科学的な根拠に基づいて作成した**標準的な診療方法**の書かれた資料のことです。注) 全ての患者の状況にそのまま適用できるわけではありません

-  『**認知症疾患治療ガイドライン 2010**』（日本神経学会／監修 医学書院 2010）
※2017年2月現在、同学会によって改訂作業が行なわれている。学会ウェブサイトでも全文閲覧可。



Minds 版やさしい解説 認知症（第2版）（Minds）

<http://minds.jcqh.or.jp/n/pub/3/pub0115/G0000592/0001>

日本医療機能評価機構が運営している医療情報サービスで、信頼性・機能性の高い情報を提供している。「認知症 やさしい解説」では、認知症とはどんな病気か、一般の方向けにやさしく解説。

②予防する

-  『**まだ間に合う！今すぐ始める認知症予防**』（朝田隆／監修 講談社 2014）
-  『**介護予防マニュアル**』（鈴木隆雄ほか／監修 法研 2015）

③病院を探す

認知症の診察を行なうのは、一般的には脳神経外科や神経内科ですが、近年では認知症の専門の外来として、「もの忘れ外来」「認知症外来」などを開設している病院が増えています。

◆もの忘れ外来のある病院を調べる

-  **公益社団法人 認知症の人と家族の会** <http://www.alzheimer.or.jp/>
ホーム > 認知症を知る > 全国もの忘れ外来一覧
「家族の会」が独自に調べた、全国のもの忘れ外来の一覧が見られる。

◆専門医を調べる

-  **日本認知症学会** <http://dementia.umin.jp/index.html>
ホーム > 専門医一覧はこちら
会員の中で、認知症診療において十分な経験と知識を有し、審査に合格した医師会員を、認知症学会専門医としてウェブサイト上で公開している。

2 利用できる制度

介護負担の少ない生活を送るには、相談・支援の制度をうまく利用することが重要です。
介護保険サービスを利用するには、市町村に申請を行い、要介護（要支援）認定を受ける必要があります。



知って便利な **認知症ケアパス**

「認知症ケアパス」とは、いつ、どこで、どのような認知症に関する医療・介護サービスを受けることができるのか、**地域の具体的な機関名やケア内容等**を記したものです。お住まいの地域のケアパスについては、市町村役所や地域包括支援センターへお問い合わせください。

①福祉・医療の制度

 『相談・支援のための福祉・医療制度活用ハンドブック』（日本医療社会福祉協会／編集 新日本法規出版 2016）
当事者の状況によって受けられる制度や施設、相談窓口などを一覧化。

②暮らしを支えるためのサポート制度

日常生活自立支援事業（預貯金の出し入れなど、日常的な生活援助の支援）

県内の愛称は「あんしんサポートねっと」。相談・申込窓口は **各市町村社会福祉協議会**。相談は無料だが利用には
県社協規定の料金が必要。

成年後見制度（財産管理など、法律的な支援）

法定後見制度を利用するには、本人の住所地の家庭裁判所に後見開始の審判等を申し立てる必要があるため、手続の
詳細については、申立てを行う家庭裁判所に問い合わせを。

県内在住者の申込窓口は **さいたま家庭裁判所**（本庁、越谷・川越・熊谷・秩父支部、久喜・飯能出張所）。

（参考）公益社団法人 **成年後見センター・リーガルサポート** <https://www.legal-support.or.jp/>

成年後見の具体的な手続きなどを分かりやすく解説。埼玉支部では電話相談のほか、浦和・熊谷・越谷・所沢で

 無料面談相談（予約制）を行っている。電話相談：048-838-1889 火曜 13 時～16 時

3 認知症の人への対応・介護

身体的なケアだけでなく、人間性を尊重したケアを大切にすることで、介護者の負担も軽くなるかも
しれません。また、介護施設も様々な形態があります。その人らしく過ごせる施設を探してみましょう。
公的な介護制度については「2 利用できる制度」をご覧ください。

①ケアに関する図書

 『新しい認知症ケア 完全図解 介護編』（三好春樹／著 講談社 2012）

認知症のよくある症状ごとに、実践的な対応方法をイラストつきで解説。

 『知っておきたい認知症ケア最前線 理解と実践』（本間昭ほか／編 ぱーそん書房 2014）

医療・福祉職向けだが、認知症ケアの具体的な事例と解決方法を 20 名以上の専門家が分かりやすく執筆している。

 地域の人に 『認知症地域ケアガイドブック』（ワールドプランニング 2012）

 福祉職向け 『認知症ケアができる人材の育て方』（田中元／著 東京 ぱる出版 2011）

 用語の確認に 『認知症ケア用語辞典』（ワールドプランニング 2016 **館内利用**）

②介護サービス事業所・施設を探す

 **介護事業所・生活関連情報検索「介護サービス情報公表システム」**（厚生労働省）

<http://www.kaigokensaku.jp/>

全国のデイサービス施設・介護施設などの介護サービス事業所と、地域包括支援センターが検索できる。

 **サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム**（一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会）

<http://www.satsuki-jutaku.jp/>

介護・医療と連携した、バリアフリー構造の住宅である「サ高住」を地域・サービスから探すことができる。

 **さいたま介護ねっと**（埼玉県 福祉部） <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/kaigo-net/>

県内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の施設ごとの空床数、入所待ちなどの情報を提供している。

4 認知症について相談する、話を聴く

①相談する

 **認知症疾患医療センター**（保健医療部 疾病対策課 総務・精神保健担当）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/nintisyosennta.html>

認知症疾患医療センター：認知症患者やその家族を医療面から支援するため、県が設置する医療機関。
平成29年2月現在、県内に10箇所存在し、上記ウェブサイトから一覧が見られる。専門相談員による電話や面談での医療相談、専門医による診断とそれに基づく初期対応、認知症周辺症状への対応などを行っている。

 **公益社団法人 認知症の人と家族の会（1-②掲載済み）** <http://www.alzheimer.or.jp/>

誰でも入会できる「認知症があっても安心して暮らせる社会」を目指す会で、各県に支部がある。電話相談では、研修を受けた介護経験者が、認知症に関する相談、悩みなどに対応する。

 電話相談：0120-294-456 携帯、PHSの場合は 075-811-8418 平日10時～15時

②他の人の体験談を聴く

 **NPO 法人健康と病いの語り ディペックス・ジャパン** <http://www.dipex-j.org/>

病とともに生きる「経験」について、認知症の人とその家族の生の声を映像・音声・テキストで読める。

 『認知症の語り』（健康と病いの語りディペックス・ジャパン／編 日本看護協会出版会 2016）
上記ウェブサイトの内容を図書としてまとめたもの。

知って便利な 認知症カフェ

認知症の人や家族が気軽に立ち寄れる「認知症カフェ（オレンジカフェとも）」が増えてきています。公的な申請制度がないため、全てを把握することが困難ですが、まずお近くの地域包括支援センターや市町村役所福祉部に問い合わせを。またインターネットで〈認知症 カフェ ○○（お住まいの地域名など）〉で検索することも有効です。

 『認知症カフェ読本 知りたいことがわかるQ&Aと実践事例』（矢吹知之／著 中央法規出版 2016）
自分で認知症カフェを開催するにはどうすればよいか？運営・継続上の工夫、実践事例をわかりやすく紹介。

5 若年性認知症

65歳未満で発症した認知症を、若年性認知症といいます。現役世代で認知症になることで、経済的に困難な状況に陥る、親の介護と重なるなど、負担が大きくなりがちです。受けられる制度や、サポートの方法を知っておきましょう。

 『本人・家族のための若年性認知症サポートブック』（小長谷陽子／編著 中央法規出版 2010）
若年性認知症ならではのわかり方のポイント等をわかりやすく解説。

 **若年性認知症に関する取組について**（埼玉県 福祉部 地域包括ケア課）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0609/ninchisyosesaku/jakunen.html>

県内の相談窓口などの掲載された、リーフレットがダウンロードできる。セミナーなどの開催情報も。

 **若年性認知症コールセンター**（社会福祉法人 仁至会 認知症介護研究・研修大府センター）

<http://y-ninchisyotel.net/>

 電話相談：0800-100-2707 月～土（年末年始・祝日除く）10時～15時

若年性認知症に関する様々な相談について、専門の教育を受けた相談員が無料で対応する。